

2946
151



特
2946
151

特
2958

折檻の木を伸んるは欲するもの本州の所謂

木鬱の症もく守る木はく其五五五五五五五五

友初のもち友切ようぞんげの花を咲せ初は此は

い浮き魂の験をのぶ延張の一葉ふ一枝を依り

本性を以てまきく連理の末を契る行を来也

何れを以てらんや是故よ木息子のまはは娘あり大

訥仁よ法下と其末を断く此よ投出はケ志つる

實事七しや春

十遍舎一九誌



仏に身をまかせて
 人のことばも聞かず
 寺に宿りて修行
 するは善なる事
 なるも此の世に
 身をまかせし
 人の事を知る事
 なくば修行は
 徒らなり

修行の道は
 人の心を正す
 事なり修行
 すれば人を知る
 事なく修行
 徒らなり



修行の道は
 人の心を正す
 事なり修行
 すれば人を知る
 事なく修行
 徒らなり

修行の道は
 人の心を正す
 事なり修行
 すれば人を知る
 事なく修行
 徒らなり

修行の道は
 人の心を正す
 事なり修行
 すれば人を知る
 事なく修行
 徒らなり



子種植舎場所
 大日如来下壇









このあまの
 うつらや
 むねのせんじ
 うらまんな
 りのあて
 せまきりだ
 るのまじり
 けりやの
 いやくの
 うさよ
 のつて
 おろ
 又よあ
 せまの
 せまきり
 けりやの
 うさよ
 のつて
 おろ
 又よあ
 せまの
 せまきり



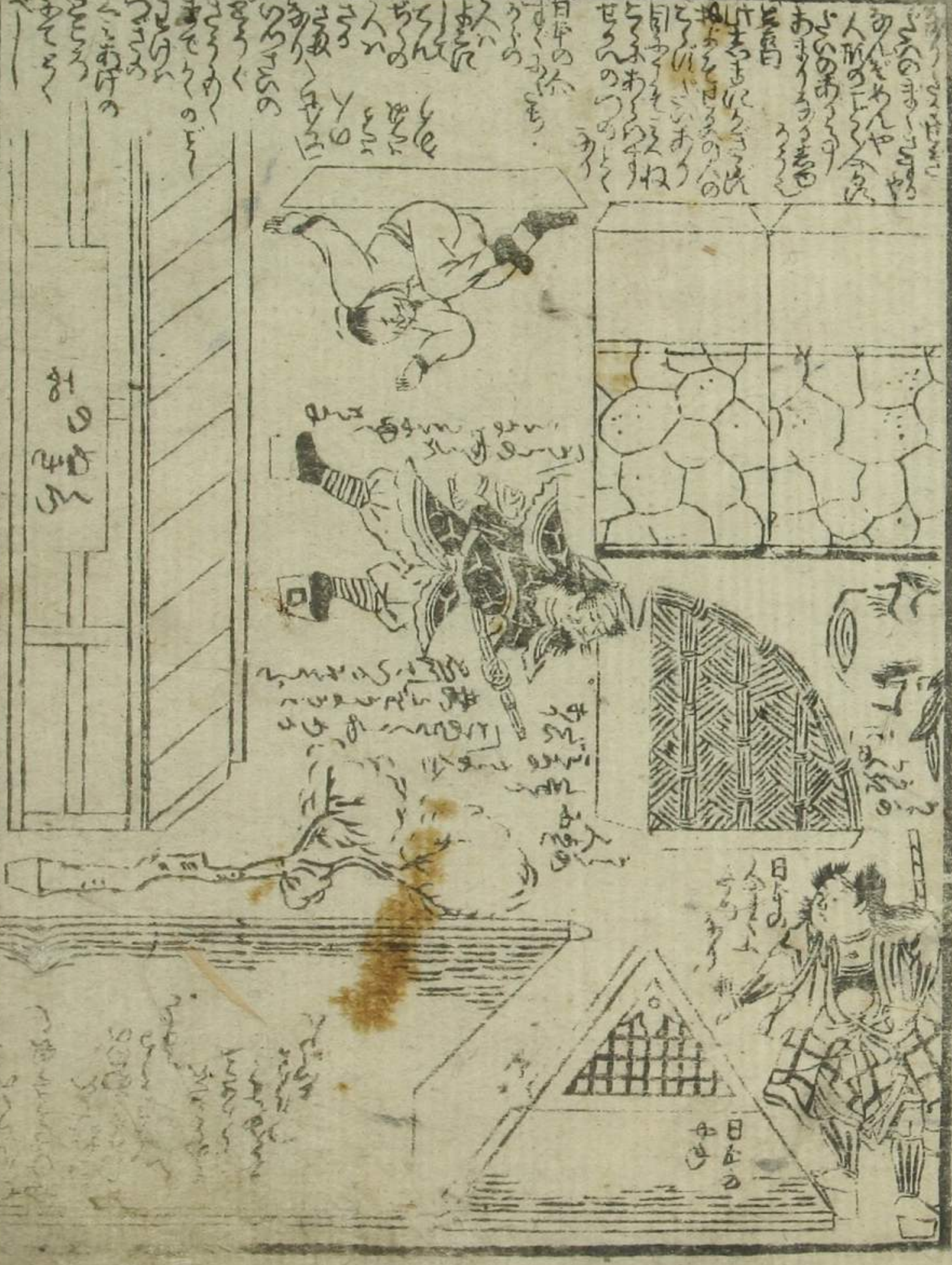
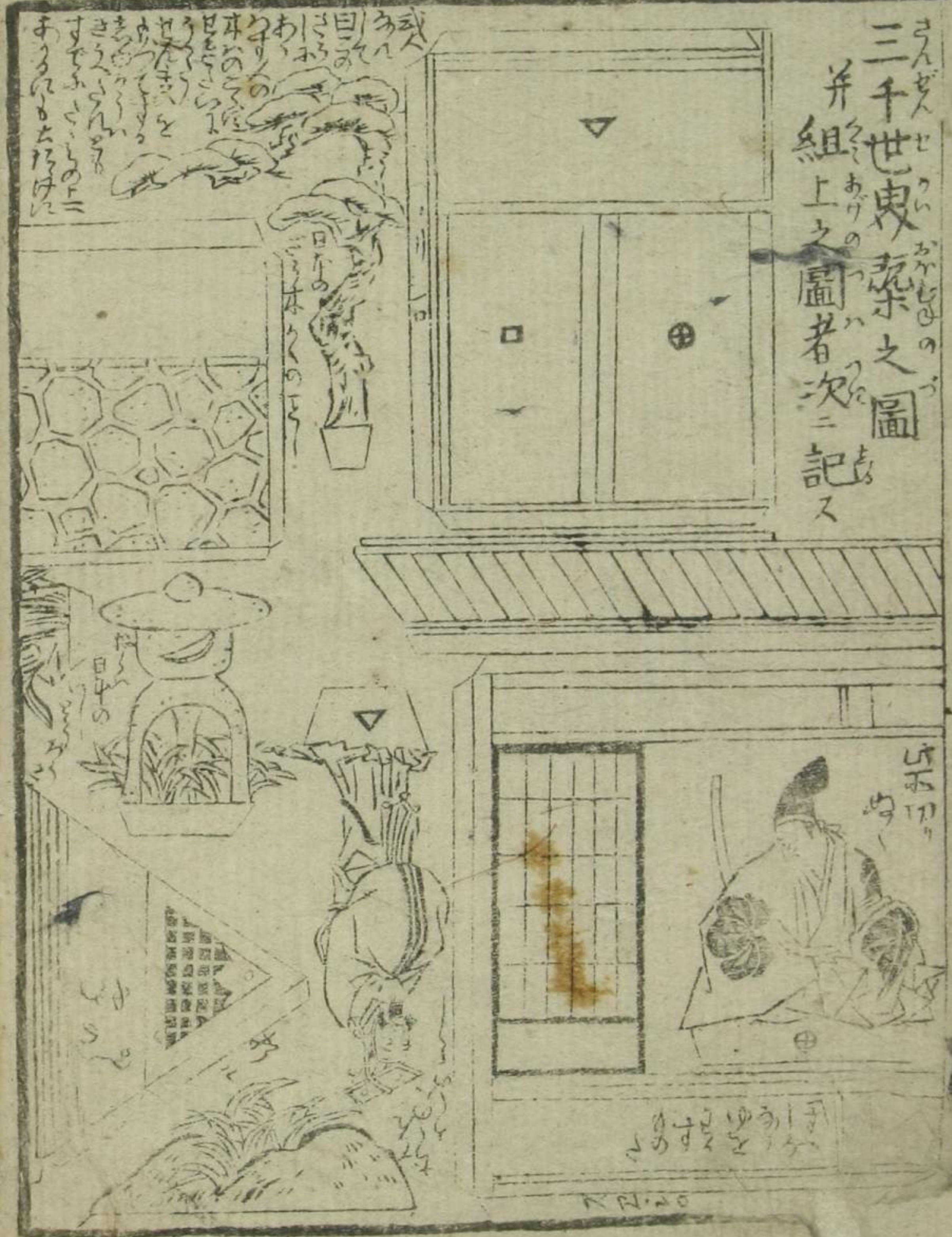
このあまの
 うつらや
 むねのせんじ
 うらまんな
 りのあて
 せまきりだ
 るのまじり
 けりやの
 いやくの
 うさよ
 のつて
 おろ
 又よあ
 せまの
 せまきり
 けりやの
 うさよ
 のつて
 おろ
 又よあ
 せまの
 せまきり

せまきり
 けりやの
 うさよ
 のつて
 おろ
 又よあ
 せまの
 せまきり



二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百

三千世東家之圖
并組上之圖者次ニ記ス



同組上之圖

Handwritten Japanese text in the upper left corner of the right page, likely a preface or introductory text.



Handwritten Japanese text in the lower right corner of the right page, possibly a commentary or a list of items.

Handwritten Japanese text in the upper left corner of the left page, continuing the text from the right page.



Handwritten Japanese text in the lower right corner of the left page, possibly a signature or date.



この鳥は、
九十九の
鳥の王と
いふべし
と云ふ也



此の動物は、
九十九の
動物の王と
いふべし
と云ふ也

此の動物は、
九十九の
動物の王と
いふべし
と云ふ也

一九画作(貞)

